

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～



長崎市立三原小学校

「誇りをもち、主体的で、自律できる子どもの育成」

～安全・安心を大切にする三原っ子～



MIHARA TIMES

令和6年6月21日発行

文責 校長 増崎 祥宣

## 被爆体験講話。

6月11日（火）は、長崎平和推進協会から語り部として城臺美彌子さんに来校していただき、被爆体験講話を実施しました。城臺さんは、小学校教諭として、三原小にも勤務されたことのある方です。6歳の時に被爆し、退職後、語り部として活動をされています。当時の話を写真を交えながら話していただきました。映っている方に実際に話を聞いてのお話は、とても分かりやすく、当時の状況や心情が伝わり、平和について考えるいい機会となりました。



## 町たんけんに行きました。

6月12日（水）は2年生、13日（木）は1年生が、生活科の学習で大手町公園まで町たんけんに出かけました。

2年生は、三原の町にある建物や生き物、植物などを観察しながら歩きました。「こんなところにこんなお店があるんだ」「ここに生き物を見つけたよ」「こんなところにきれいな花が咲いてるね」など、普段は行かないけれど学校の近くには、いろいろな物があることを知りました。さらには、学校で学んでいたあいさつの仕方にも気を付けて、地域の人にも元気にあいさつをすることができました。

1年生は、通学路にあるものということで、生き物や植物だけでなく道路標識などにも目を向けて歩きました。道路標識の意味を学びながら、安全に歩くことができるように学習しました。最後は、どちらの学年も斜面地に建つ家を見ながら、美しい三原の景色を堪能しました。



## 来週は三原っ子の心を見つめる教育週間です。

6月24日（月）から30日（日）は、「三原っ子の心を見つめる教育週間」です。これは、本県すべての公立学校で実施されているものであります。教育活動を公開することにより、学校と保護者や地域住民が連携し、「地域の子どもは地域ではぐくむ」という機運を高めたいと考えています。そして、児童が「いのちを輝かせて生きようとする心情」育むとともに、情報モラルについての理解を深めていけることを目標としています。期間中は、命に関する講話を聞いたり、情報モラルを学んだり、道徳の授業を通して命について考えていきます。教育週間中は、いつでも来校していただいて構いませんので、都合のいい時間帯にご参観ください。また、29日（土）には講演会も計画しておりますので、奮ってご参加ください。